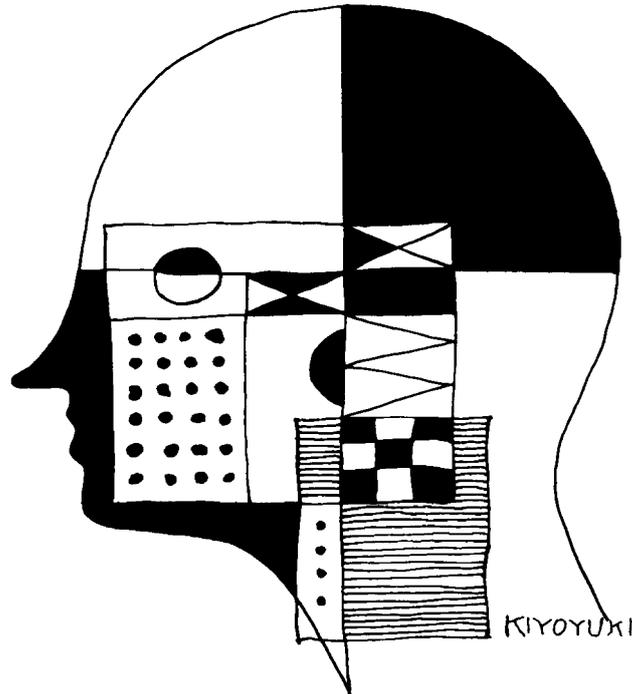


第 39 回

日本病院歯科口腔外科協議会総会・学術集会

プログラム・抄録集 (簡易版)



会期：令和 6 年(2024 年)11 月 22 日(金)15:45－18:35

会場：パシフィコ横浜 会議センター 第 5 会場 (3F 315)

(第 69 回 日本口腔外科学会総会・学術大会会場内)

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1

TEL：045-221-2155

大会長 新垣敬一
沖縄県立中部病院

大会長挨拶



第 39 回日本病院歯科口腔外科協議会総会・学術集会 大会長
沖縄県立病院事業局主幹(歯科統括)
沖縄県立中部病院医療部長
兼 歯科口腔外科部長

新垣 敬一

**テーマ：病院歯科口腔外科における顎変形症治療の展望-
～始めよう！安心・安全な顎変形症手術を目指して～**

この度、第 39 回日本病院歯科口腔外科協議会総会・学術集会大会長を拝命いたしました新垣敬一と申します。ご指名をいただきました宮田 勝協議会理事長ならびに協議会役員の先生方に深く感謝申し上げます。またこの会を開催するにあたって多大なるご配慮とご厚意を賜った第 69 回（公社）日本口腔外科学会総会・学術大会大会長であります池邊 哲郎福岡歯科大学口腔・顎顔面外科学講座口腔外科学分野教授ならびに実行委員長の平木 昭光福岡歯科大学口腔・顎顔面外科学講座口腔腫瘍学分野教授に心から感謝申し上げます。

近年の顎変形症治療の基本方針は、形態(咬合)、機能(咬合)を中心とした概念から、气道、整容性の向上などを総合的に考慮したより低侵襲で安全で安定した治療へと移りつつあります。その理由としては、CT や 3 次元立体模型などを用いた術前診断や超音波骨メスなどの手術道具の進歩や改良により Le Fort I 型骨切り術が安心して安全に行われるようになり、治療法の選択肢の幅が広がってきたことも要因のひとつであります。

顎変形症手術は、ポイントを押さえれば 比較的安全に行える手術という事もあり、今後の口腔外科手術の主たる手術となることが想定されます。現在、安心・安全な医療提供が可能となりつつある環境の下、患者の利便性や病院歯科における経営などを鑑みて、積極的に取り組むべき疾患の一つと言えます。その一方で、病院歯科での顎変形症治療には課題もあり、大学病院とは異なり多くの場合、同じ病院内に歯科矯正部門が存在しないため、近隣の開業矯正歯科医と連携して治療を進める必要があります。そのため、治療方針、術式、治療ゴール、follow up 体系などが様々で、周術期管理を通して“想定外”の現象を経験し、その対応に苦慮することも少なくありません。本シンポジウムでは経験豊富な先生方に、共通のテーマとして 1.安心・安全な医療提供体制 2.連携矯正歯科医(複数)との治療計画(術式選択を中心に) 3.想定外の事例とその対処法 (トラブルシューティング) 4.顎変形症治療の病院経営への貢献度などについて要点・コツ(勘所)について紹介していただき、これから顎変形症治療はじめようとお考えの会員の先生方やあるいはすでに行われている先生方の知識・技術の向上のための情報提供を目指します。

2024年11月22日(金) 第5会場 (3F 315)

I 総会 15:45-16:15

1. 理事長挨拶
2. 報告事項
3. その他

II 学術集会 16:15-18:35

1. 大会長挨拶
2. 学術集会

シンポジウム：「病院歯科口腔外科における顎変形症治療の展望」
～始めよう!安心・安全な顎変形症手術を目指して～

座長：新垣 敬一（沖縄県立中部病院 歯科口腔外科）

堀之内康文（前公立学校共済組合九州中央病院 歯科口腔外科）

演者：升井 一郎（医療法人社団広仁会広瀬病院 歯科口腔外科）

針谷 靖史（医療法人溪仁会手稲溪仁会病院 歯科口腔外科）

碓 竜也（公立学校共済組合九州中央病院 歯科口腔外科）

森 宏樹（洛和会音羽病院京都顎変形症センター）

比嘉 努（沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 歯科口腔外科）

教育講演：「進行性下顎頭吸収という臨床症状に対する私なりの知見」

演者：丸岡 豊（国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院）

基調講演：「顎矯正手術は病院歯科口腔外科の業績向上に寄与するか？」

演者：横江 義彦（洛和会音羽病院京都顎変形症センター）